

第 66 回教育研究評議会議事録

I 日 時 平成 21 年 7 月 16 日 (木) 14 時 00 分～15 時 55 分

II 出席者 議 長 山田学長

評議員 清水、赤平、塩尻、田中、鈴木、五十嵐、阿部、宇川、西川、坪井、山田(秀)、村上、大田、東、五十殿、中山、山田(宣)、北脇、庄司、金井、吉田、海老原、大塚、阿江、玉川、竹内、溝上、永田、井上、菊地、朝岡、本澤、石田、加賀、佐藤、深水、板野

代理出席 金保基礎医学系長(吉川人間総合科学研究科副研究科長代理)

III 議 題

〔審 議〕

- (1) 大学教員業績評価制度における博士課程研究科長の評価の実施について ----- [審資料 1]
- (2) eラーニング整備の基本方針について ----- [審資料 2]
- (3) 寄附講座の設置について ----- [審資料 3]

〔報 告〕

- (1) 平成 21 年度国際化拠点整備事業(グローバル 30)について ----- [報資料 1]
- (2) 第二期中期目標・中期計画に関する今後の予定について ----- [報資料 2]
- (3) 大学機関別認証評価の実施について ----- [報資料 3]
- (4) 平成 22 年度概算要求重点事項について ----- [報資料 4]
- (5) 平成 20 事業年度財務諸表等について ----- [報資料 5]
- (6) 平成 21 年度受験生のための筑波大学説明会について ----- [報資料 6]
- (7) 平成 21 年度つくば市総合防災訓練の共催について ----- [報資料 7]
- (8) 筑波キャンパスCO₂排出量・エネルギー使用量実績(6 月分)について ----- [報資料 8]
- (9) 第 32 回経営協議会報告 ----- [報資料 9]

〔その他〕

- (1) 第 3 回つくば 3 E フォーラムの開催について ----- [席上配付資料]
- (2) 「つくばエコ通勤ウィーク」への実施協力について ----- [追加資料 1]
- (3) 国際連合安全保障理事会決議第 1874 号を受けた北朝鮮籍を有する研究者及び学生との交流における不拡散上の留意点について ----- [追加資料 2]

IV 議 事

〔審 議〕

1 審議資料 1 に基づく審議の結果、原案どおり承認された。

なお、評議員から、兼担となる研究科長については、当評価と教員評価がどのように実施されるのかとの質疑があり、当該研究科長には管理と教育研究の両面があるが、当評価においては管理面を中心に評価するので、教育研究に関しては兼担している旨を特記事項として記入することとなる旨の説明があった。

2～3 審議資料 2～3 に基づく審議の結果、原案どおり承認された。

〔報 告〕

1 報告資料 1 に基づき報告があった。

なお、評議員から、執行部として今後どのように進めていくのか示してほしい旨の意見があり、今後は学長の下に設置する国際化推進委員会において、本事業を実施して行くことになる旨の説明

があった。

さらに、任期付外国人教員の公募及び採用過程について意見交換があった。また、現状の2年任期の設定では優秀な人材を獲得するうえで不利であり、本学からの人材流出も懸念されることから、待遇等の改善についても今後検討願いたい旨の発言があった。

2～4 報告資料2～4に基づき、それぞれ報告があった。

5 報告資料5に基づき平成20事業年度財務諸表等について報告があった。

なお、評議員から、人件費比率の軽減についてどのような方策を考えているのかとの質疑があり、外部資金（特に民間や他省庁の外部資金等）獲得とそれに伴う事業規模の拡大が重要である旨の説明があった。

6～9 報告資料6～9に基づき、それぞれ報告があった。

〔その他〕

1 席上配付資料に基づき、第3回つくば3Eフォーラムの開催について説明があり、関係学生、教職員への周知及び参加協力について要請があった。

2 追加資料1に基づき「つくばエコ通勤ウィーク」への実施について説明があり、教職員への周知及び参加協力願いたい旨の要請があった。

3 追加資料2に基づき北朝鮮籍を有する研究者及び学生との交流における不拡散上の留意点について説明があった。

以上